学校番号	325

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	東京書籍　現代社会						
副教材等	第一学習社　本質が見えてくる　最新現代社会資料集　新版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多くの諸資料を収集し、それらを提示することによって、日本や世界における基本的な問題を探求し、考察できるようにする。

2　学習の到達目標

広い視野に立って日本・世界における課題を主体的に考察させ、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者としての能力・態度を育成する。また、日本の国際的立場や役割を広くとらえられる視野を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄に関心を高め，意欲的に追究しているか。 ・社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けているか。 ・平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付けているか。	・現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄から課題を見いだし，広い視野から多面的，多角的に考察しているか。 ・課題について社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断しているか。 ・課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。	・ 現代社会の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択することができるか。 ・得られた資料や情報を効果的に活用し，学び方を身に付けているか。	・現代社会の政治，経済，社会，国際関係，人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し，その知識を身に付けているか。また，学び方を身に付けているか。
評価方法	授業態度 観察(取組状況)	授業態度 発問評価 観察(取組状況)	発問評価 提出課題	発問評価 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	1 民主政治とは	○民主政治がヨーロッパで生まれた経緯や社会契約説，権力分立の思想，議会制民主主義の成立と仕組みについて理解する。 ○基本的人権や法の支配，立憲主義の意義，自由権から社会権へ向かう人権の歴史的展開について理解する。 ○議院内閣制と大統領制の特色を三権の関係などの視点から理解するとともに，社会主義国の政治体制について理解する。	○	○	○	○	a：世界の政治体制について，日常の政治報道などとも関連付けて関心を高めている。 b：法の支配などの意義について，歴史的経過も視野に入れながら考察している。 b：理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c：教科書記載の社会契約説の資料やフランス人権宣言，人権保障の歩みなどの資料を適切に読み取り，適切に活用している。 d：民主政治の成立の歴史や原理，世界の政治体制について，理解するとともに，知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	2 日本国憲法の基本原理	○大日本帝国憲法の性格を学ぶとともに，日本国憲法が制定されるまでの経緯について学習し，日本国憲法の三大原理について理解する。 ○日本国憲法における人権保障の基本的な考え方や法の下の平等の意義，自由権的基本権について理解する。 ○社会権的基本権の意義，生存権，教育を受ける権利，勤労権などの内容について理解する。また，基本的人権についても学習する。	○	○	○	○	a：日本国憲法の原理、基本的人権の保障について関心を高め，意欲的に考えようとしている。 b:理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c：教科書の図や年表などの活用、様々な事例，判例について教科書記載の資料を効果的に活用している。 d：日本国憲法の特色を理解し，日本国憲法の三大原理についての知識を習得している。基本的人権の意義と内容を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

	3 日本の政治機構	○三権の相互関係について理解し，国会の役割と権限，二院制をとっている国会の構成と運営，現状と改革の動きについて学習する。 ○議院内閣制の仕組み，内閣の権限と国の行政組織を理解するとともに，行政にかかわる課題について考察する。 ○日本の裁判制度，「憲法の番人」としての裁判所，裁判員制度などの司法制度改革について理解する。	○	○	○	○	a：国会の仕組みと権限，実際の運営について関心を高め，意欲的に考えようとしている。 b：理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c：三権分立や国会の組織，法律の成立過程，憲法改正，内閣の権限，行政機構，日本の裁判制度等の教科書記載の図を適切に活用している。 d：国会の国政における位置付けや権限，国会における法律案や予算の審議ルールについて理解し，その知識を身に付けている。 ・議院内閣制の仕組みや裁判委員制度について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	4 現代政治の特質と課題	○近代選挙の四原則，選挙制度の概要，日本の選挙制度の仕組みについて理解し，「一票の格差」など選挙制度をめぐる課題について考察する。 ○民主政治における政党や利益集団の意義と役割，現状と課題について考察する。 ○世論の意義を理解し，世論とメディアとの関係，政治意識などについて考察する。	○	○	○	○	a：近年実施された選挙の例なども参考にしながら，選挙制度や一票の価値などの課題や民主政治における政党の意義，利益集団，政治資金と政治活動について関心が高まっている。 b：理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c：資料を適切に活用して，選挙の仕組みや課題について学習を進めている。 d：近代選挙の原則，日本の選挙制度について理解し，その知識を身に付けており、政党の役割や利益集団の働きについて理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

2	1 経済のしくみ	○資本主義経済の変容と社会主義やケインズの理論，資本主義の現在について理解する。 ○経済主体の一つである企業の役割，企業の活動，株式会社の特色，国際化に伴う変化，企業の社会的責任について理解する。 ○財やサービスを価格の動き，寡占市場における価格の形成，独占禁止政策，市場の失敗について考察する。 ○国の経済の指標であるGDP や国富などについて理解し，経済成長の意味や景気の変動について学習する。 ○金融システムの仕組みについて理解する。	○	○	○	○	a: 資本主義経済の成立と変容，企業の形態や活動，現代の企業の特色、・財やサービスの配分における市場メカニズムの働きや市場の限界について関心が高まっている。 b: 理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c: 教科書記載の図を適切に活用して理解を深めている。 d: 現在経済に至る経済社会の変容，現代の企業の区分，株式会社の特色について理解し，その知識を習得している。また，寡占や独占の市場機構のゆがみ，市場の失敗 GDP などの経済の指標の使われ方や意義，景気変動と物価，金融の仕組みと金融機関の役割について，理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	2 変化する日本経済	○第二次世界大戦後の経済復興にかかわる諸改革や高度経済成長の経過や背景について理解します。 ○高度経済成長以降の石油危機や産業構造の変化，為替相場制度の変更，プラザ合意と円高不況，1980 年代後半以降のバブル経済について理解します。 ○平成不況の状況、また，日本経済の現状と課題について考察します。	○	○	○	○	a: 戦後復興や高度経済成長がどのようにして成し遂げられてきたか，その背景について関心を持ち，意欲的に追究しようとしている。 b: 理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c: 科書記載の図やグラフを適切に活用している。産業構造の変化や日本経済の国際化，日米経済摩擦について理解するために，教科書記載のグラフや表を適切に活用している。 d: 第二次世界大戦後の経済の復興と自立の背景，その後の高度経済成長の背景や要因についてや，油危機をきっかけとした産業構造の転換，新たな為替相場制への対応等国際経済環境の動き，バブル経済とその崩壊について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

3	3 豊かな生活の実現	○消費者主権の意味や消費者問題の背景消費者行政と関連法制の概要を理解し，消費者の自立に向けた取り組みについて考察します。 ○労働契約の特性，労働組合，労働運動，労働者の権利の必要性，労働に関する法制を理解します。 ○バブル経済崩壊以降の労働や雇用環境の変化，労働や雇用にかかわる様々な課題について理解します。 ○日本の社会保障制度の概略について理解し，少子高齢社会における社会保障制度の在り方について考察します。 ○高度経済成長とともに引き起こされた日本の公害問題と新しい公害問題、環境保全について理解し，今後における環型社会について考察します。	○	○	○	○	a: 消費者契約の特性、労働三権の意義，労働三法の具体的な内容・労働者派遣制度，非正規雇用の増大，失業率，労働法制の動きなどへの関心が高まっている。 また、社会保障制度の意義や日本の社会保障制度の内容，社会保障制度の課題について関心を持ち，意欲的に追究しようとしている。 また、深刻な公害問題の背景，その後の環境対策の経過，新しい環境問題と今後の環境保全の在り方について関心を持ち，意欲的に考えようとしている b: 理解したこと，考察したこと，関心を持ったことなどを適切な方法で表現している。 c: 教科書記載の図版や年表を適切に活用している。また、公害・環境問題の背景や経緯を理解するために，四大公害問題や公害・環境問題関係年表等を適切に活用している。 d: 消費者保護行政や関連する法律の意義について理解し，労働基本権と労働三法の内容を理解し，その知識を習得している。労働者派遣制度の改正や非正規雇用が増大している雇用の現状、社会保障制度が必要な背景，害問題の背景と対策について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。